



さとみん♪の編集後記

春爛漫の季節になり、令和4年、新年度が始まりました。皆様いかがお過ごしでしょうか?ユニカレさがでは、現在「春の体験会」を開催しています。プレ校では、6名の方が現在体験中で賑やかな教室になっています。生活のリズムを整えたい、働くために必要な体力や知識を身につけたい、就職するためのスキルを身につけたいと思っている人、ぜひ体験会にご参加ください。4月からは、放デイ「ユニスク」のオープンのため、スタッフの異動や新しいスタッフを迎え新たなスタートを目指します。



ユニカレさがは障害がある人が就労を通して幸せになれる支援を通しSDGsの達成に貢献します

ユニカレさがの約束

- 目標 4「質の高い教育をみんなに」**
ターゲット 4.5「教育における障害者があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする」ために、年間40名以上の障害者への学習機会を提供します。
- 目標 8「働きがいも経済成長も」**
ターゲット 8.5「障害者の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一労働同一賃金を達成する」ために、年間10名以上の障害者がある人それぞれに、ベストマッチの就労を実現します。
- 目標 10「人や国の不平等をなくそう」**
ターゲット10.2「障害に関わりなく、すべての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する」ために、毎年障害者5名以上の企業等への一般就労を実現します。

SDGs(持続可能な開発目標)とは
SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2030年までに世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくることを約束しました。そのための17の目標と169のターゲットが設定されています。

ユニカレさが Universal College SAGA
障がい者ビジネススクール

☎0952-20-1333
お問合せ 月～金曜日 9:30～17:00 (休校日 土・日曜・祝日)

詳しくは
http://unicolsaga.or.jp

本校 佐賀市駅前中央1丁目13-5 ひかり駐車場 1階南 (佐賀駅バスセンター 徒歩1分)
プレ 佐賀市神野東2丁目1-3 サンシティビル3階 (佐賀駅北口 徒歩1分)

みなさまに支えられ、おかげさまでユニカレさがは、9年目を迎えました

ユニカレ SAGA Newsletter

Send from 障がい者ビジネススクールユニカレさが

発行元:障がい者ビジネススクールユニカレさが
発行日:2022年4月 発行責任者:角田さとみ

No.43

一般就労決定祝



医療法人ロコメディカル 江口病院様

Eさんは、生活訓練2年・移行支援1年の利用を経て江口病院様へ就職され、事務補助の仕事をされています。利用当初は週3日半日のみの利用から始められましたが、自分自身の感情としっかり向き合い、距離感やこだわり、コミュニケーション等の課題に取り組まれました。就労が決まるころには笑顔が素敵なども頼りになる存在になっておられました。これからも、素敵な人生を歩んでほしいと思います。



笑顔が素敵な Eさん

昭和リース株式会社様

Kさんは、生活訓練2年・移行支援1年8か月の利用を経て昭和リース株式会社様へ就職され、コルディアール農園様で水耕栽培の作業をされています。利用当初はコミュニケーションが苦手で感情表現にも苦労されましたが、前向きな気持ちへと切り替える課題に職員と共にコツコツと最後まで取り組まれました。一般就労され、自立という新たな目標へ向かって進んでおられます。これからも応援しています。



頑張り屋さんの Kさん

就労継続支援 B 型事業所 はびねす

Yさんは、生活訓練1年8か月・移行支援1年5か月の利用を経てはびねす様へ就労されました。利用間もないころは、自分から話しかけることが苦手な Yさんでしたが、コミュニケーション、マナーなどを学ばれ、いつしか Yさんの周りは笑顔楽しいおしゃべりであふれていました。手先が器用で手芸が大好きなことを活かしてはびねす様への就労を決められるとともに、グループホームでの生活もスタートされました。自立へ向かって頑張っておられます。職員一同応援しています。



いつも元気な頑張り屋さんの Yさん

■ 今月の本校の授業 ■

就職実践コース



お仕事体験

姉妹校となる「放課後スクールユニスクさが」の開校式典のお手伝いに全員でチャレンジしました。スーツを着てのお仕事体験で、実際に来場されるお客様の受付をしたり、お席まで誘導をしたりしました。事前にJSTの授業で役割を決め、人の流れ方を想像し、どんな言葉をかけるのか、挨拶はどうか、歩く速さはどうか等細かく練習をしました。当日は緊張も強かったのですが、それぞれが役割を果たすことができ、とても良いお仕事体験となりました。振り返りでは「仕事の現場では質問できない場面があること」や「その場で考えて自分の判断が必要になること」など、実際にやってみて色々なことに気が付くことができました。

就職基礎コース



評価を受け入れる

【評価】の授業を行い、評価には2種類ある事を学びました。
 ・学校の成績が上がった→根拠があるものを事実評価
 ・成績は変わらないが徹夜で頑張った→個人の感性や感情や努力を感情評価
 評価の受け取り方は様々ですが、根拠がない時でも周りからの「いいね！すごいね！」を受け取る事も大切。心が少し疲れた時は、今自分に足りない(必要)なのはどちらの評価？と考える事が出来ると変わるチャンス！
 ここで受講生の感想をご紹介します♪以前は相手の意見や評価を素直に受け取れず、目に見える評価や上ばかり見てしまい喜べなかった。ただ、今は評価を受け入れる事ができるようになりました。心が楽です、もう昔に戻る事はないと思います！と記入がありました。職員から見ても、今は評価を素直に喜び表情や言動にも自信が伺え成長を感じています。

■ 今月のプレ校の授業 ■

コミュニケーション



要約力

「要約力を身につける」の学びを行いました。自分の思いを相手に伝えたくても、なかなか理解してもらえなかったりうまく伝わらなかったりとなると、もどかしくなってしまいます。なぜ伝わらないのか…グループワークで「話が長すぎる」「主語がいくつも存在する」「伝えたい要点がまとまっていない」などさまざまな理由があることが分かりました。そこで、みんなが知っている「桃太郎」の話をして30文字で相手に伝える取り組みにチャレンジ☆苦戦しながらも「相手に伝えるように」を意識して要点をおさえることができました。後は日々「意識して実践」に取り組みたいです。

制作



2月は紙皿と折り紙を使って雛祭り制作、3月は水風船を使ってイースター制作に取り組みました！どちらもとても素敵に可愛らしく仕上がりました。お雛様は、受講生それぞれの個性が表れ、ほっこりするような作品ばかりでした。また、イースター(復活祭)制作では“キリストの復活を祝う日”、“春の訪れを祝う日”ということで、エッグ(卵)のオーナメントを作りました。ボンドの液体を湿らせた糸を風船にまんべんなく巻き付け乾かして風船を抜き取ると、卵型の可愛いオーナメントの出来上がり！ゴム手袋をつけ、ボンドでベタベタの手で作業しづらかったようでしたが、完成した作品を見て皆さんニコリでした♡

第44回佐賀県障害者技能競技大会 (アビリンピック佐賀2022)

4年連続全国大会出場!!

1月22日(土)に第44回佐賀県障害者技能競技大会が行われ、6人入賞という好成績を収めることが出来ました。金賞受賞者の徳島さんと吉本さんは、11月開催予定の全国大会に出場することになっており、4年連続の全国大会出場となります。

ユニカレに来る前は人差し指のみでタイピングしていましたが、授業でどんどん勉強・練習していく内に、タッチタイピングの習得、Word・Excel3級の取得とパソコンの能力を上げていく事ができました。自分も想像できなかった上達で、佐賀大会で金賞を取れた事は大きな実績となりました。今は11月の全国大会というより大きな目標に向かって頑張っています。 徳島

最初にエクセルかワードどちらで出場するか迷い、色々な方の意見を参考にし、最終的にワードで出場すると自分で決めました。自分で決めたからには大会まで後悔しない過程を選びたいと思い「私が今できる範囲でやる」事を意識し、当日も無理せず挑めたと思います。そして何より、一緒に出場する仲間達の「楽しんで、やってやるぞ！」の雰囲気の後押しされ、とても勇気をもらいました。11月に全国大会が控えていますが、気負わず挑みます。 吉本



賞状とメダルを手にして素敵な笑顔の皆さん。



大会前にバシャリ。皆さん緊張の面持ち。

第41回全国障害者技能競技大会 (アビリンピック)出場

昨年1月に行われた第43回佐賀県障害者技能大会(アビリンピック佐賀2021)で、見事代表に選ばれた松川さんが、東京で開催された第41回全国障害者技能競技大会に参加されました。

昨年の12月、アビリンピック全国大会がコロナ禍で開催され出場させて頂きました。大会の雰囲気・音・プレッシャー、そんな状況の中でワード競技に臨みました。結果は残念なものでしたが、それ以上に自分の苦手とする人混みへの挑戦・ワードのスキル向上など、自分にとってプラスとなる大会でした。 松川



山口知事の隣が松川さん



全国大会の様子